

# 誰もが安心して暮らせる 温かいまちを目指して。

## ● 障がい福祉計画の第2期がはじまりました

市は、すべての人が住み慣れた地域で、安心して充実した生活を送ることができるよう、市民の皆さんと一緒に、地域福祉を推進しています。

私たちが住むまちには、子どもからお年寄り、障がいがある人など、いろいろな人が暮らしています。

そこで市は、障がいのある人が地域の中で自立し、生きがいを持ちながら、安心してその人らしい生活を送ることができる共生社会の実現を目指し、市の障がい者施策の基本的な計画となる、岩見沢市障がい者福祉計画を平成16年度に策定しました。

また、障害者自立支援法の施行を受け、平成18年度には、この障がい者福祉計画の理念をもとに、障害福祉サービスの提供などについての基

本的な考え方や目標、地域生活環境を整えるための取り組みや、そのために必要と見込まれるサービス量などを定めた、岩見沢市障がい福祉計画を策定しました。

この計画は、平成23年度を目標年として、3つの目標値を設定し、第1期平成18から20年度と第2期（平成21から23年度）に分けて、まちづくりを進めています。

### 第1期から第2期へ

この3月に、第1期の計画が終わり、公募による市民や有識者、障がい者団体の代表者などが、計画の進捗状況や現在のニーズ等を検証しました。

それを踏まえて市は、必要な見直しや重点を置くべき取り組みなどを盛り込んだ、第2期の計画を策定しました。

この第2期の計画をもとに、障がいのある人が気軽に立ち寄れる相談拠点として、有明交流プラザ（有明町南1）に障がい者相談窓口（☎35局1100）を増設しました。

この相談窓口の増設をはじめとして、市民や関係者の皆さんとの連携をさらに深めながら、地域全体の

岩見沢市障がい福祉計画の達成状況と目標値

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		第1期計画			第2期計画		
施設入所者数	253人			現状 230人			目標値 218人
退院可能な精神障がい者数	37人		現状 18人				目標値 0人
福祉施設からの一般就労者数	5人	0人	6人		目標値 毎年5人以上		

「人によさしい温かい街づくり」を進めます。

今後は、障がいのある人もない人も、誰もが社会の一員として積極的に活躍し、心と心の交流を通して、一人ひとりの笑顔が地域全体の元氣につながっていくようなまちを目指します。

問合せ 市福祉課福祉係

障がい者手帳所有者数  
(平成20年度末現在)

身体障がい者手帳	5,001人
療育手帳	719人
精神障がい者保健福祉手帳	282人